令和8年度版「学力向上ポートフォリオ（学校版）」【南浦和小学校】

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する資質・能力	(1)自分の考えを伝えることができる資質・能力 (2)協働的に学ぶことができる資質・能力
⇓	
実施する学力向上策【時期・頻度】	(1)短い文章で自分の考えをまとめる授業やプレゼン・スピーチの機会を増やした授業の実施【各単元の中で1回以上】 (2)相互交流で対話・話合い活動を充実させるとともに、課題解決を行う時間を設定する。【各単元の中で1回以上】

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	国語の「考えと、それを支える理由や事例との関係を理解しているか」を問う問題や算数科の「データの活用」に関する問題に課題が見られた。一方で、今年度の重点目標である「自分の考えを伝える力」に関連する「話すこと・聞くこと」領域では、全国平均の正答率を上回る結果となった。 児童質問「友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか」において9割以上の児童が肯定的な回答であった。
⇓	
結果から考えられる児童生徒の実態	・「考えと理由・事例との関係を理解すること」や、「引用を用いて自分の考えが伝わるよう書き方を工夫すること」に課題が見られる。 ・多くの児童が学習において協働的に学ぶことができている。

③	中間評価	
学力向上策の実施状況	評価(※)	学力向上策(1)・(2)ともに実施することができている。(2)については友達の意見に触れ、理由や事例を比較しながら自分の考えを深める活動をより活発になるよう指導していく。
	B	
⇓		
学力向上策の見直し	(変更なし)	

※評価　A 8割以上（達成）　B 6割以上（おおむね達成）　C 6割未満（あと一歩）

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	
⇓	
結果から考えられる児童生徒の実態	

⑤	年度末評価	
学力向上策の実施状況	評価(※)	
⇓		
今年度の成果と次年度の課題		

※評価　A 8割以上（達成）　B 6割以上（おおむね達成）　C 6割未満（あと一歩）